

発行年月日：令和5年8月22日
発行者：渋谷区教育委員会事務局

住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 区役所4階
問い合わせ先：☎03-3463-2795 ✉sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

第一回「代々木中学校建て替え準備委員会」を実施しました

はじめに

渋谷区立代々木中学校は、渋谷区『新しい学校づくり』整備方針に基づき、老朽化した校舎及び体育館等の全面建て替え工事を、令和8年度から実施する予定です。建て替えに当たっては、学校の特色や周辺の環境等を考慮しつつ、「未来の学校」をイメージした基本計画を策定してまいります。

新しい学校の姿や、令和8年度から利用を開始する予定の、スポーツセンター敷地内の仮設校舎への移転等について、関係者の皆様に情報共有をするとともに、意見交換を行うため、学校やPTA、地域団体等の代表の皆様で構成された「代々木中学校建て替え準備委員会」を設置しました。

今後も皆様と情報共有・意見交換を重ね、新しい学校づくりを進めていきます。

第一回委員会 議題

- ①代々木中学校建て替え準備委員会設置及び会議の運営について
- ②渋谷区『新しい学校づくり』整備方針の概要及び仮設校舎について
- ③事例紹介
- ④既存施設の法的規制について
- ⑤校舎配置の比較検討について
- ⑥一足制について
- ⑦意見交換

第一回委員会実施日時等
実施日時：令和5年7月24日（月）
14時～15時30分
会場：代々木中学校 第一会議室

①代々木中学校建て替え準備委員会設置及び会議の運営について

委員会の設置要綱と組織の説明を行いました。

目的：新校舎建設や仮設校舎建設に関することについて、情報共有及び意見交換を行うため
組織：校長及び教職員代表、PTA代表、地域団体等の代表、渋谷区教育委員会事務局、ほか

②渋谷区『新しい学校づくり』整備方針の概要及び仮設校舎について

渋谷区作成のプロモーションビデオ上映、渋谷区『新しい学校づくり』整備方針（概要版）の説明をしました。
渋谷区『新しい学校づくり』整備方針 HP
スポーツセンター 仮設校舎（仮）使用スケジュール（案）
スポーツセンター 仮設校舎（仮）配置場所（案）
整備方針 HP QRコード

令和/年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
代々木中学校																			
幡代小学校																			
西原小学校																			
笹塚中学校																			
富谷小学校																			



※仮設校舎については、今後の計画検討の中で、配置場所が変更となる可能性があります。

③事例紹介

新しい学校のイメージを共有するために、渋谷区「未来の学校」の参考となる他自治体等の事例を紹介しました。

④既存施設の法的規制について

既存の代々木中学校に関する情報、及び敷地にかかる法的規制について確認しました。
代々木中学校の敷地は第一種高度地域（高さの最高限度10m）・準防火地域・渋谷区みどりの確保に関する条例等が対象です。

Q 第一種高度地域の10m高さ制限は、既存の高さと比べるとどうなのでしょう？

A 既存校舎の高さは17.89mで、現状では制限を超えています。新設校舎については10mを超えて建てることができる緩和条件により、3階建て程度を想定しています。

⑤校舎配置の比較検討について

学校敷地内における校舎やグラウンドの配置案について、教室配置、生徒の動線、体育館の規模など6項目について比較しながら5案を整理し、メリット・デメリットを紹介しました。

■：メリット（他家と比べ、良好な教育環境の創出につながる事項）
■：デメリット（他家と比べ、教育環境づくり、周辺環境、体育館、グラウンド等への影響に留意が必要な事項）

	既存踏襲案	案① グラウンド北東側配置	案② グラウンド南西側配置	案③ グラウンド東側配置	案④ グラウンド西側配置
校舎配置	片廊下型、計画の自由度が低い	中廊下型	片廊下型、計画の自由度が低い	コの字、口の字型、計画の自由度が高い	コの字、口の字型、計画の自由度が高い
生徒の動線	コの字型配置により、教室間や体育館への動線が長い	L字型配置により、教室間や体育館への動線が長い	L字型配置により、教室間や体育館への動線が長い	校舎が集約されているため、教室間や体育館への動線が短い	校舎が集約されているため、教室間や体育館への動線が短い
体育館の規模	北側は高さ制限により大幅な地下化が必要	地上に設置可能	北側は高さ制限により大幅な地下化が必要	地上に設置可能	地上に設置可能
近隣影響（日影）	北側・西側近隣建物に日影がかかる	北側一部・西側近隣建物に日影がかかる	北側・西側一部の近隣建物に日影がかかる	北側一部・西側近隣建物に日影がかかる	北側一部の近隣建物に日影がかかる
グラウンドの規模	100m直線走路：× 200mトラック：○ サッカーコート：○	100m直線走路：○ 200mトラック：○ サッカーコート：○	100m直線走路：× 200mトラック：○ サッカーコート：○	100m直線走路：○ 200mトラック：○ サッカーコート：○	100m直線走路：○ 200mトラック：○ サッカーコート：△
グラウンドの環境（日影）	南側に校舎がないため、良好な日照が得られる	南側に校舎があるため、日照が悪い	南側に校舎がないため、良好な日照が得られる	南側に校舎がないため、良好な日照が得られる	南側に校舎がないため、良好な日照が得られる

⑥一足制について

代々木中学校では、上履きを廃止する「一足制」を検討しており、そのメリットや導入事例を紹介しました。

Q 人工芝となると、スポーツの競技によってやりにくいものもあると思いますが、野球やテニスはどのように考えているのでしょうか？

A 野球は人工芝で行っている学校もあります。硬式テニスについては西原庭球場の利用、陸上は一部をウレタン舗装とする等を考えています。

Q 現在テニス部が西原庭球場を使っていますが、グラウンドと西原庭球場の通用口がなくなると困るため、行き来がしやすい計画してほしい。

A グラウンドと西原庭球場を歩道状空地でつなげ、行き来がしやすい計画を検討しています。

⑦意見交換

Q 全体的に建物は地下に沈む形となるのでしょうか？

A 近隣へ高さの影響を少なくするため、一部地下化は必要と考えています。

Q 敷地の北西は高低差がありますが、その高低差を利用して地下にプールを計画する案はないのでしょうか？

A 北西の高低差がある部分には、高さを必要とする体育館等を検討しており、また、地域の方が学校へ入る動線と、生徒が学校へ入る動線を分ける検討も行っています。